

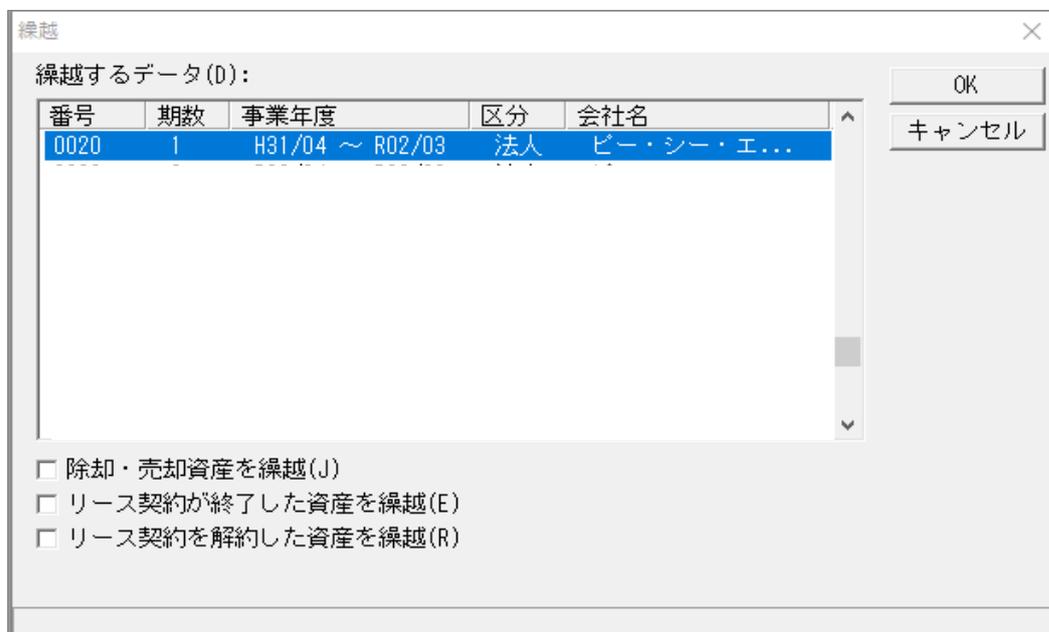
◆繰越処理（新規繰越）の操作手順

（画面例はすべて『PCA 減価償却 V.3 』を使用しています）

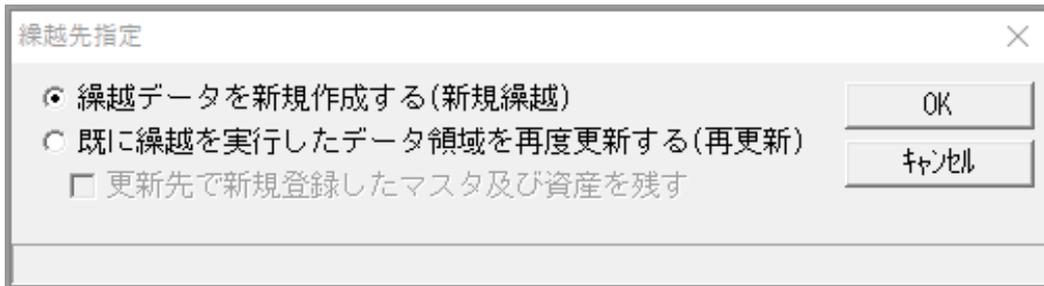
- ① 作業中のトラブルに備え、メニューの「ファイル」－「データ保守」の「データ領域のバックアップ」を選択します。（または「データ領域の一括バックアップ」）にて前年度のバックアップを実行します。（例：ピー・シー・エー(株) 第1期のバックアップを実行します。）
- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前年度を選択して [開く] を押します。（例：ピー・シー・エー(株) H31/04～R02/03 第1期を選択します。）



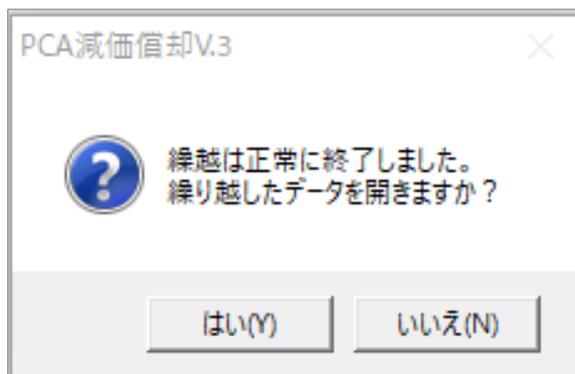
- ③ メニューの「ファイル」－「データ保守」の「繰越」を選択します。
現在開いている領域が選択されています。
繰り越したい資産にチェックを付け [OK] を押します。
【注意】 除却・売却資産を繰越のチェックを入れなかった場合、償却資産申告対象資産はソフトが自動的に繰越を行います。



- ④ [繰越データを新規作成する(新規繰越)]にチェックを入れ、[OK] を押すと繰越が開始されます。



- ⑤ 完了メッセージが表示されます。[はい] で繰越領域が開きます。



◆繰越処理（再繰越）の操作手順

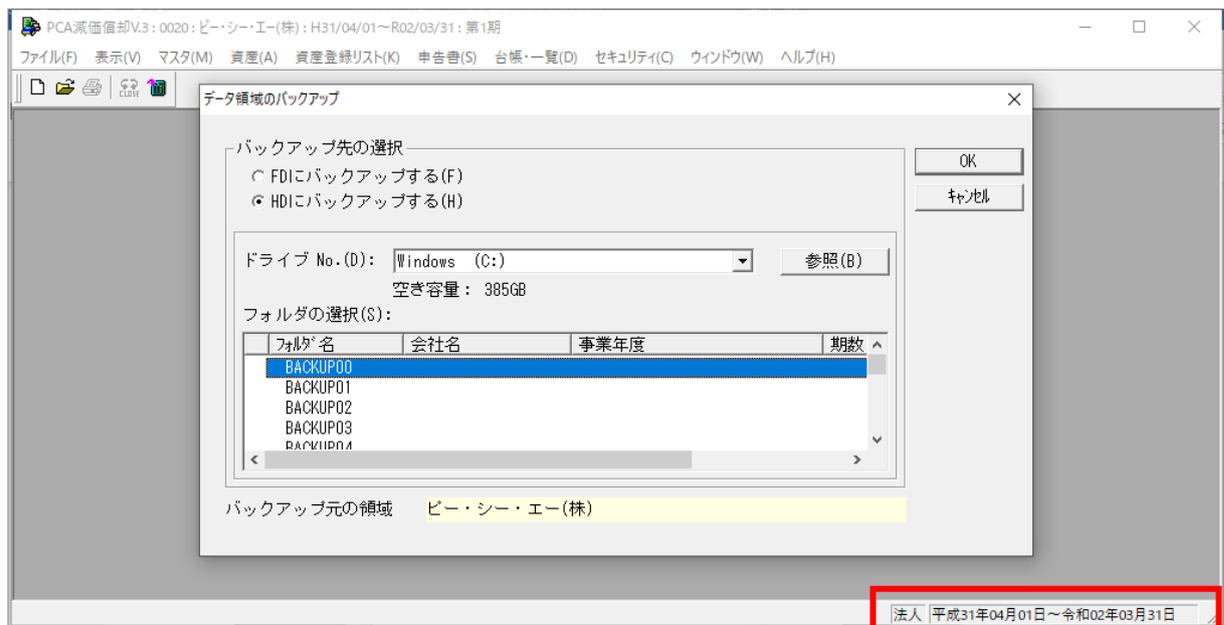
■「繰越処理（新規繰越）」を実行した後、前年度のデータが変更された場合に実行します。

【注意】新年度で、既存資産の処理を進めている場合、再繰越をしますと情報がクリアされてしまいます。新年度での処理を進めている場合は再繰越をしないことをお勧めします。

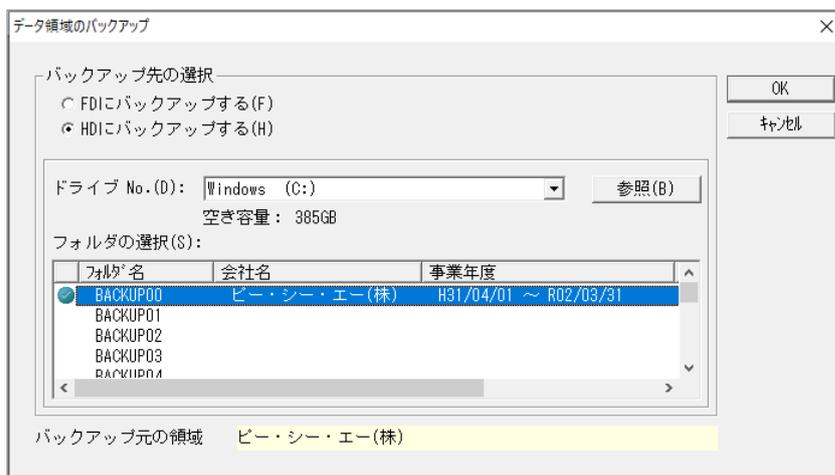
※新年度においての新規登録の資産については、再繰越をしてもクリアされません。

- ① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ保守」－「データ領域のバックアップ（または「データ一括バックアップ」）にて前年度・新年度のバックアップを実行します。（例：ピー・シー・エー(株) 第1期、第2期のバックアップを実行します。）

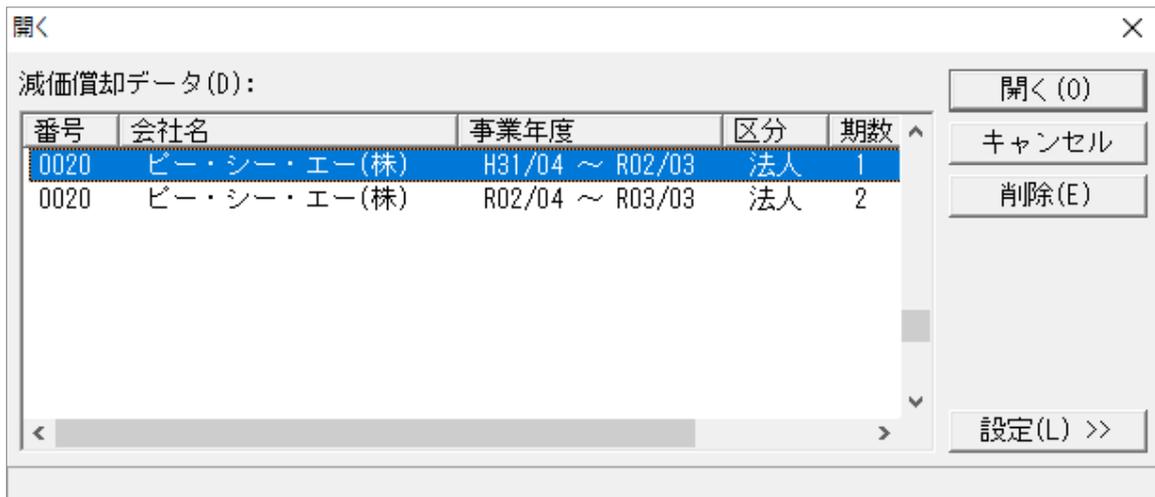
※赤枠内が現在開かれているデータ領域です



実行し、バックアップが完了すると画面上にバックアップできた領域が表示されます。



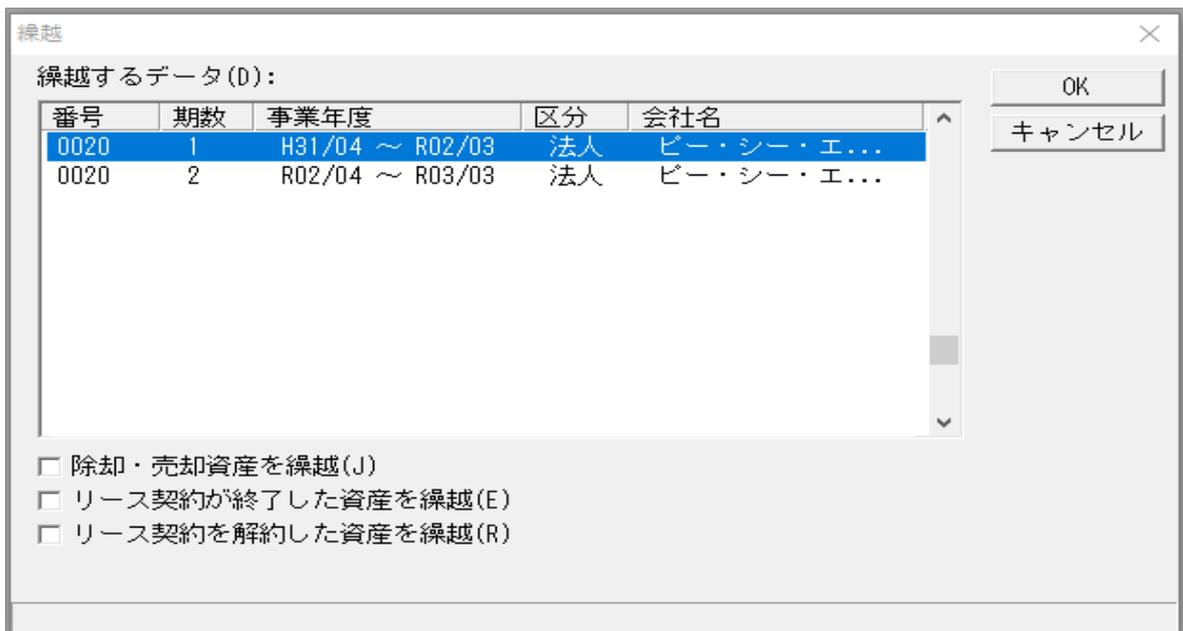
- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前期データ領域を選択して [開く] を押します。(例：ピー・シー・エー(株) H31/04～R02/03 第1期を選択します。)



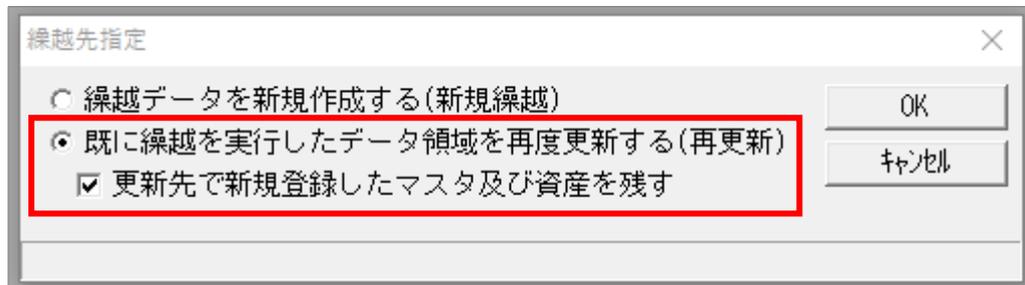
- ③ メニューの「ファイル」－「データ保守」の「繰越」を選択します。
現在開いている領域が選択されています。

繰り越したい資産にチェックを付け [OK] を押します。

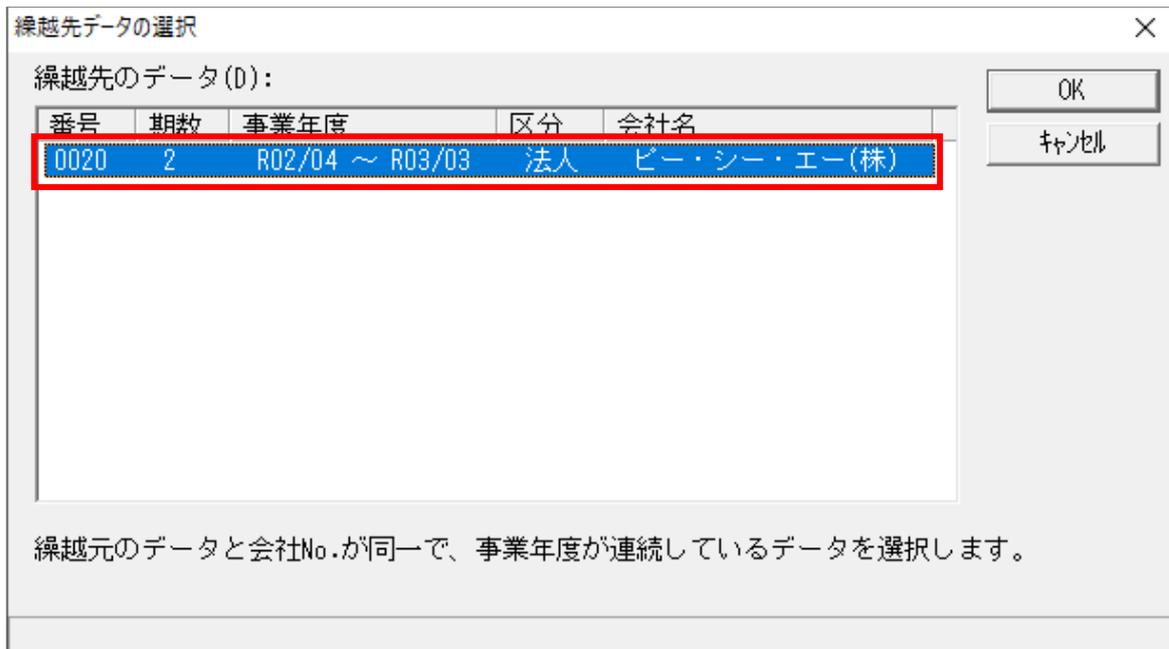
【注意】 [除却・売却資産を繰越] のチェックを入れなかった場合、
償却資産申告対象資産はソフトが自動的に繰越を行います。



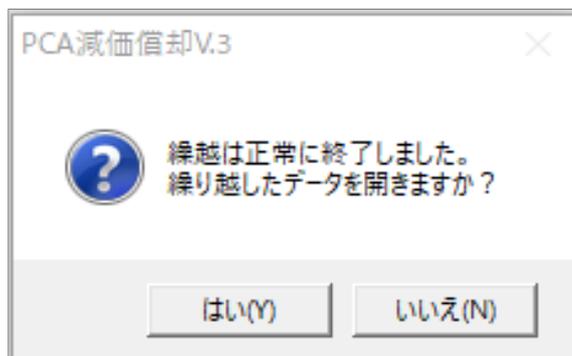
- ④ [既に繰越を実行したデータ領域を再度更新する(再更新)] にチェックを入れ、
[OK] を押します。
[更新先で新規登録したマスタ及び資産を残す] のチェックは必ず付けてください。



- ⑤ 繰越可能な領域が表示されますので選択し [OK] を押します。
【注意】複数領域が表示される場合、お間違いのないよう選択してください。



- ⑥ 完了メッセージが表示されます。[はい] で繰越領域が開きます。



- ⑦ メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、新年度を選択して「開く」を押し、「台帳・一覧」－「固定資産台帳」にて償却額等の確認をお願いします。
以上で処理は完了です。（例：ピー・シー・エー(株) 第2期を選択します。）

開く

減価償却データ(D):

番号	会社名	事業年度	区分	期数 ^
0020	ピー・シー・エー(株)	H31/04 ~ R02/03	法人	1
0020	ピー・シー・エー(株)	R02/04 ~ R03/03	法人	2

開く(O)
キャンセル
削除(E)
設定(L) >>